

「上海、世界最大の屋内スキー場 2024 年にオープンへ」

胡 曉雯

上海自由貿易試験区臨港新エリアでは、「耀雪アイスワールドプロジェクト」の建設が最終段階に入り、年内オープンを予定しています。

総建築面積 35 万平方メートル(東京ドーム 7.5 個分の広さ)の耀雪アイスワールドは、主に面積約 9 万平方メートルの屋内スキー場、全天候型ウォーターパーク、三つ星リゾートホテル、多目的コンベンションセンター、氷雪をテーマにしたビジネスタウンから成り、完成後はワンストップの氷雪リゾートとなり、上海の観光産業における氷雪観光の空白を埋めることとなります。

「耀雪アイスワールドプロジェクト」は上海臨港新区が設置された後、最初に着工された壮大なスポーツ・観光類プロジェクトです。スキー場の内部の垂直落差は 60 メートルに達し、高級、中級、S 級三つのグレンデが設置されています。



【建設中の耀雪アイスワールド】

中国では、2023 年 11 月 1 日から 2024 年 1 月 23 日までの期間中の各地のスキー場チケットの予約が 2019-2020 年同期の 2.5 倍に達しました。2023-2024 年の冬季シーズンにはウィンタースポーツ関連を楽しむ人が初めて 4 億人を突破する見込みです。このブームは、2022 年の冬季北京オリンピックの成功の影響だといわれています。

「中国氷雪産業発展研究報告書(2023 年版)」によると、中国のウィンタースポーツ市場規模は 2023 年に 8900 億人民元(約 18 兆円)に、2025 年には 1 兆人民元(約 20 兆円)に達し、中国全体のスポーツ総市場規模の 5 分の 1 を占める見通しです。また、2022-23 年のスノーシーズンにおける中国のウィンタースポーツ愛好者は青年がメ

インで、全体の 60%以上を占めています。スキーヤーだけを見ると、70%以上が体験型消費者で、経験回数が 3 回以下となっており、何度もスキーに行っている愛好者は約 20%、プロのスキーヤーはわずか約 10%となっています。

目的から見ると、ウィンタースポーツを単なる目新しさや体験としてではなく、ファッションブルでトレンドな生き方として捉える傾向があります。最初は初心者だった人がウィンタースポーツの熱心なファンになり、楽しむことがライフスタイルの一部になったことを示しています。



【スキー場の様子】

愛好者の増加に伴い、ウィンタースポーツ用品に対する需要が爆発的に伸び、ウィンタースポーツ消費財市場全体の規模が急増すると予測しています。

特に、子供・青少年用品市場が急成長しています。関連統計によると、中国の子供用スキーウェア市場規模は 2017 年の 6.5 億元(約 134 億円)から 2022 年には 13 億元(約 268 億円)に成長しました。昨年、子供用スキーウェア市場売上高は EC プラットフォームの「Tmall」だけで 1469.2 万元(約 3 億円)に達し、前年比 167.8%増加しました。

2023 年末までの中国の子供用スキーウェア市場は、約 14.5 億元(約 298 億円)に達すると予想されています。

参照：

- ①[世界最大の屋内スキー場が年内オープン](#)
- ②[2023 年ウィンタースポーツの生産額は 8900 億人民元に達す見込み](#)
- ③[2023 年中国氷雪産業発展研究報告書](#)